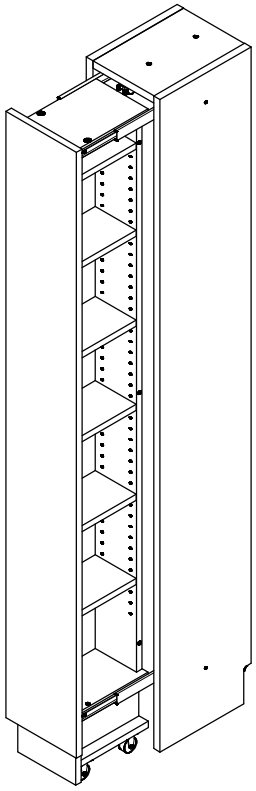
JAJAN

120523

セミオーダー壁面システム収納ラック　本棚
ＣＭ－２３Ｂ
組立取扱説明書



このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この説明書及び添付書類をよくお読みの上、末永くご愛用賜りますよう
お願い申し上げます。

※ この説明書及び、他添付書類は必ず保管してください。
※ 万一商品に不良や部品不足などの不都合がございましたら、
　下記の製造ロット番号を併せてご連絡ください。

品　番	ＣＭ－２３Ｂ
寸法(cm)	幅×奥行×高さ
外寸	２３．５×３１．２×１８０
材　質	前板：ポリエステル化粧板
	その他：プリント化粧繊維板
耐荷重	可動棚/固定棚:各１０kg

製造ロット番号

注意事項

①ご使用になる前にこの「注意事項」をよくお読みの上、正しくお使いください。

②ここに掲載した「注意事項」は安全に関する重大な内容を記載しておりますので、必ず守ってください。
（お子様のいるご家庭では特に注意してください。）

これらの記載内容は次の意味をあらわしています。

警告：誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

注意：誤った取扱いをすると、使用者が重傷を負う危険及び物的損害の発生が想定されます。
※物的損害とは家屋及び家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

組立上のご注意

警告：組み立ては二人以上で行ってください。

警告：組み立ての際は広い場所で行い、工具類の取り扱いには十分注意（特にお子様）してください。

警告：ネジ・締付金具等で、確実に止（締）めてから組み立ててください。不十分な止（締）めの場合、使用中本品が破損しケガをする恐れがあります。

注意：ドライバー等必要な工具類を用意してください。ただし電動ドライバーは使用しないでください。

注意：組み立てる前にパーツ及び部品の数を確認してください。

注意：ダンボールなどを下に敷いてから組み立ててください。床が傷つくことがあります。

注意：組立説明図の順番を間違えると組み立てられない場合があります。組立説明図の順番に沿って組み立ててください。

注意：本品が組み上がったら、ネジ・締付金具等で、確実に止（締）めてあるか、再度確認してください。

設置上の注意

警告：地震などで本品が倒れ、ケガをすることがあるので、建物の壁・床・天井などに固定用金物や固定部材でしっかり固定してください。又、本品の上に物を置くと落ちてケガをすることがあるので、置き方にご注意ください。

警告：本品を設置・移動する際は必ず二人以上で行ってください。その際収納物は全て取り除いてください。前板やボックス部をつかんで持ち上げた場合、本品が破損する恐れがあります。

注意：本品を設置・移動する際は引きずらないでください。本品の破損や床にキズがつく恐れがあります。

注意：高温・多湿の部屋で空気が滞留するとカビやダニが発生しやすくなり、健康を害する事があります。部屋の換気をしてください。

注意：直射日光や熱・冷暖房器の風などが直接当たらない様にしてください。本品が歪んだりする原因となることがあります。

注意：本品は水平を保つように置いてください。本品が歪んだまま使用しているとスライドの出し入れがスムーズでなかったり、本品の強度が落ちる等、本品が壊れたりケガをする原因となることがあります。

使用上の注意

警告：耐荷重を越える物は収納しないでください。本品が破損する恐れがあります。
※可動棚、固定棚の耐荷重は10kgです。

警告：本品の上に立つ、座ったまま激しく動かす、踏み台代りに使う、不安定な姿勢で掛ける等しないでください。安定をくずし、倒れてケガをする危険があります。

警告：スライド部に乗る、ぶら下がる、無理な力で引っ張る等しないでください。倒れてケガをする危険があります。重心が前又は横へ移り転倒することがあります。

警告：木材の接着剤等（ホルムアルデヒド）が残っている本品で、肌の弱い人はアレルギー症状をおこす場合がありますので、換気を十分にしてとり除く様にしてください。特に乳幼児の衣料等を収納される時はポリ袋やビニール袋等に入れたままの状態で収納してください。

注意:天板の上に物を置かないでください。

注意:水などで濡れたら乾いた布で拭き取ってください。本品が壊れる原因になります。

注意:濡れたものを直接置かないでください。本品が壊れる原因になります。

注意:可動棚は、棚受金具で確実に取り付けてください。不十分な取付けでは棚が外れ落ち、破損やケガをすることがあります。

注意:本品を移動する時は､落としたり倒したりしない様に手でしっかり持って運んで破損やケガのないようにしてください。

注意:ボルトや連結金具をしっかりと締めてください｡ゆるんだままでの使用によりボルト等が外れケガをする原因になることがあります。

解体上の注意

警告:解体時は二人以上で行ってください。

注意:組立順序とは逆の順に解体してください。

注意:本品に乗せてある物を全て取り除いてから解体してください。

注意:解体時に､使用している部品を無くさないようにしてください。

保守･点検の注意

警告:スライドレール等の固定用ネジ類がゆるんでいないか時々点検し､ゆるみはじめたらしっかり締め直してください｡ゆるんだまま使用していると壊れてケガをする原因になります。又、本品の移動をした時も点検し、ゆるんでいたら締め直してください。

注意:害虫を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください｡他から虫が入った事も考えられられますので、放置すると害虫が拡大する恐れがあります。

注意:部品の交換できる期間は２年間とさせて頂きます｡正常な使用状態で故障および損傷した場合は無料ですが、不当な取扱によって故障および損傷した場合は有料とさせて頂きます。

お客様へのお願い

注意:本品にセロハンテープ等を貼りつけないでください。変色・剥がれの原因となります。

注意:本品の改造はおやめください。

本品のお手入れの仕方

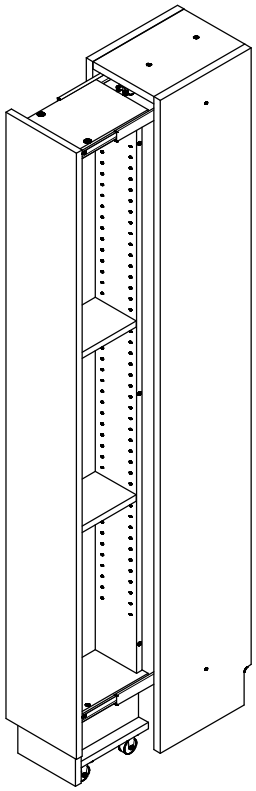
注意:本品のお手入れは柔らかい布でから拭きしてください。

注意:汚れがひどい場合は、柔らかい布に中性洗剤を薄めた液を付け、固く絞ってから拭き、その後、柔らかい布で十分にから拭きしてください。

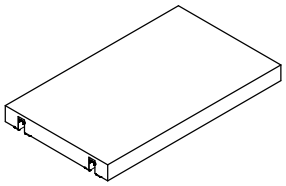
注意:ベンジン･シンナー･アルコール類及び、化学ぞうきんは表面の仕上げを傷めますので使用しないでください。

※組み立てる前にパーツ及び部品数の確認をしてください。
※床を傷つけない様にダンボール等を敷いて作業してください。

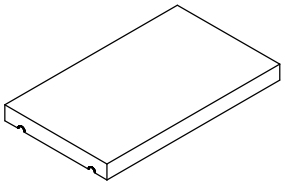
①本体　×１



②固定棚　×２



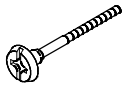
③可動棚　×４



※既に取り付けて　※可動できます
ありま す　（８ページ参照）

Ⓐ棚受金具　×１７
（予備１含）

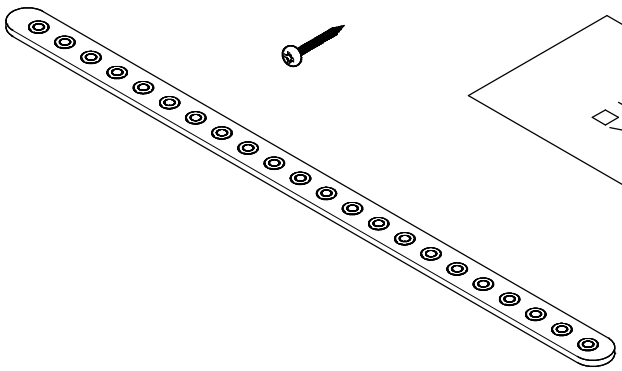
Ⓑ連結金具　×２

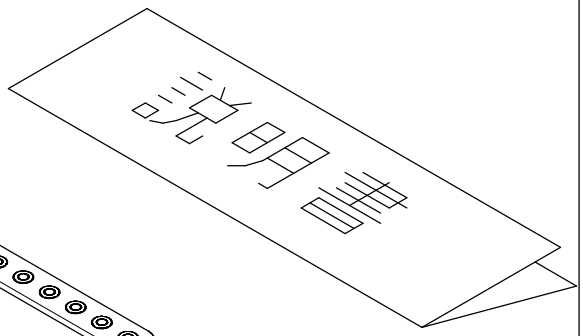


Ⓒ連結金具受け　×２

※単品では使用しません
（６ページ参照）

Ⓓ転倒防止バンド　１セット
（バンド×２/木ネジ×４/説明書）

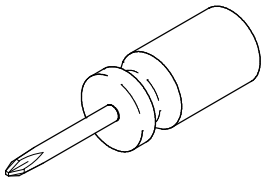




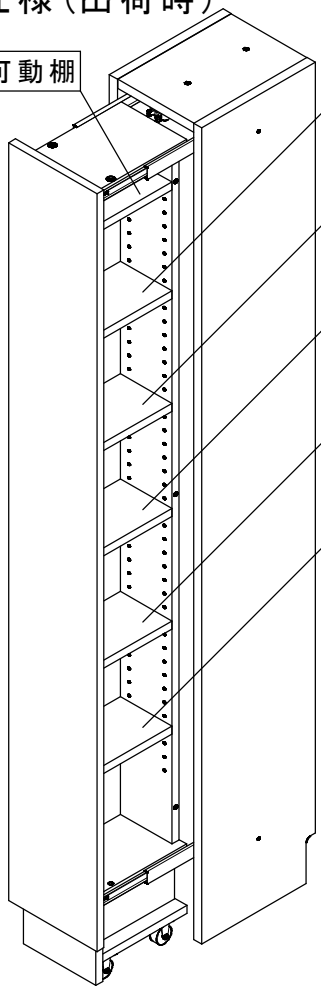
用意するもの

部品にあったドライバーを用意してください

プラスドライバー

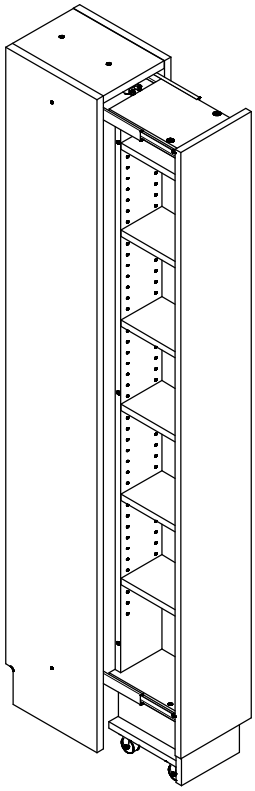


右仕様(出荷時)



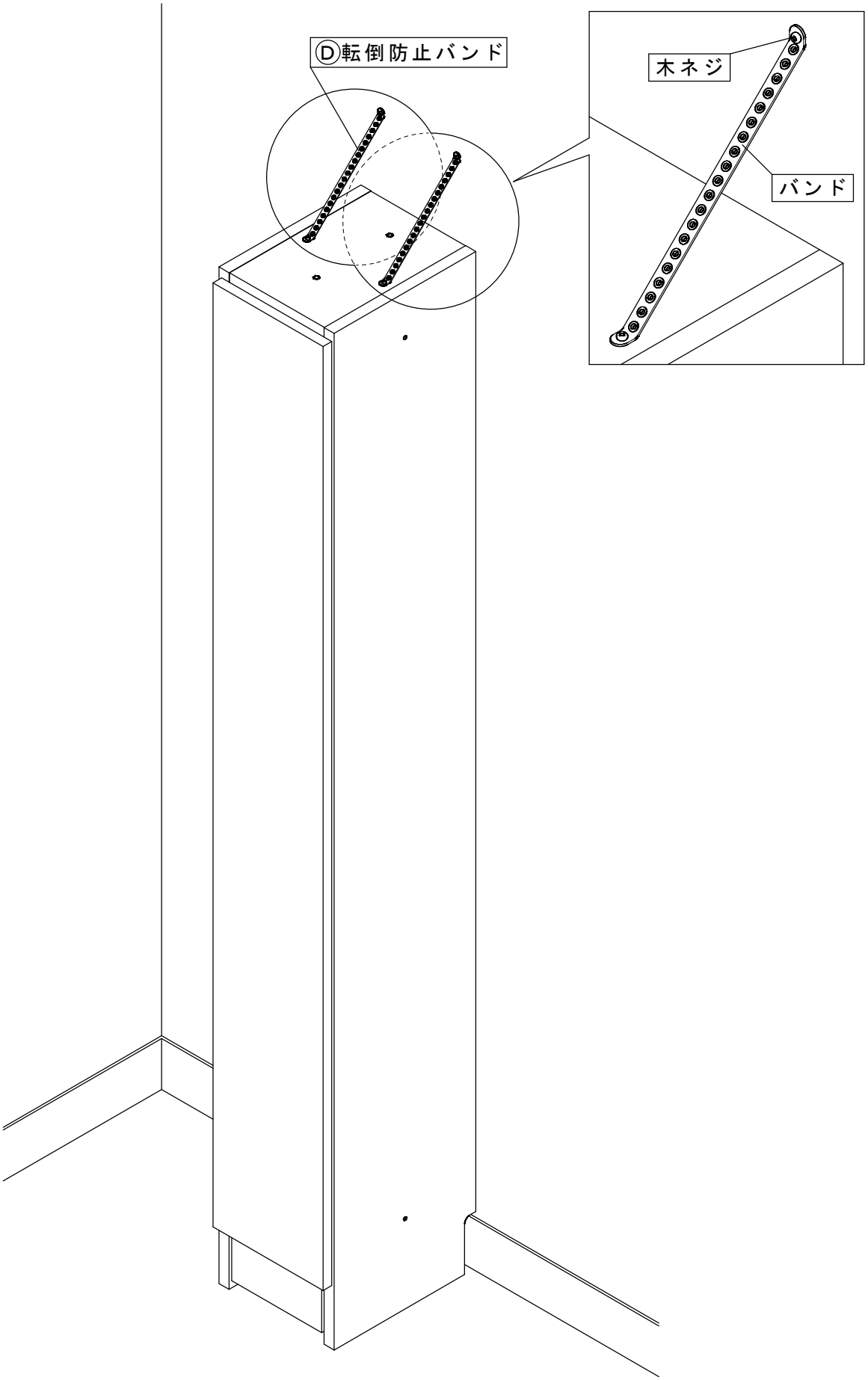
左仕様

（左仕様変更７ページ参照）



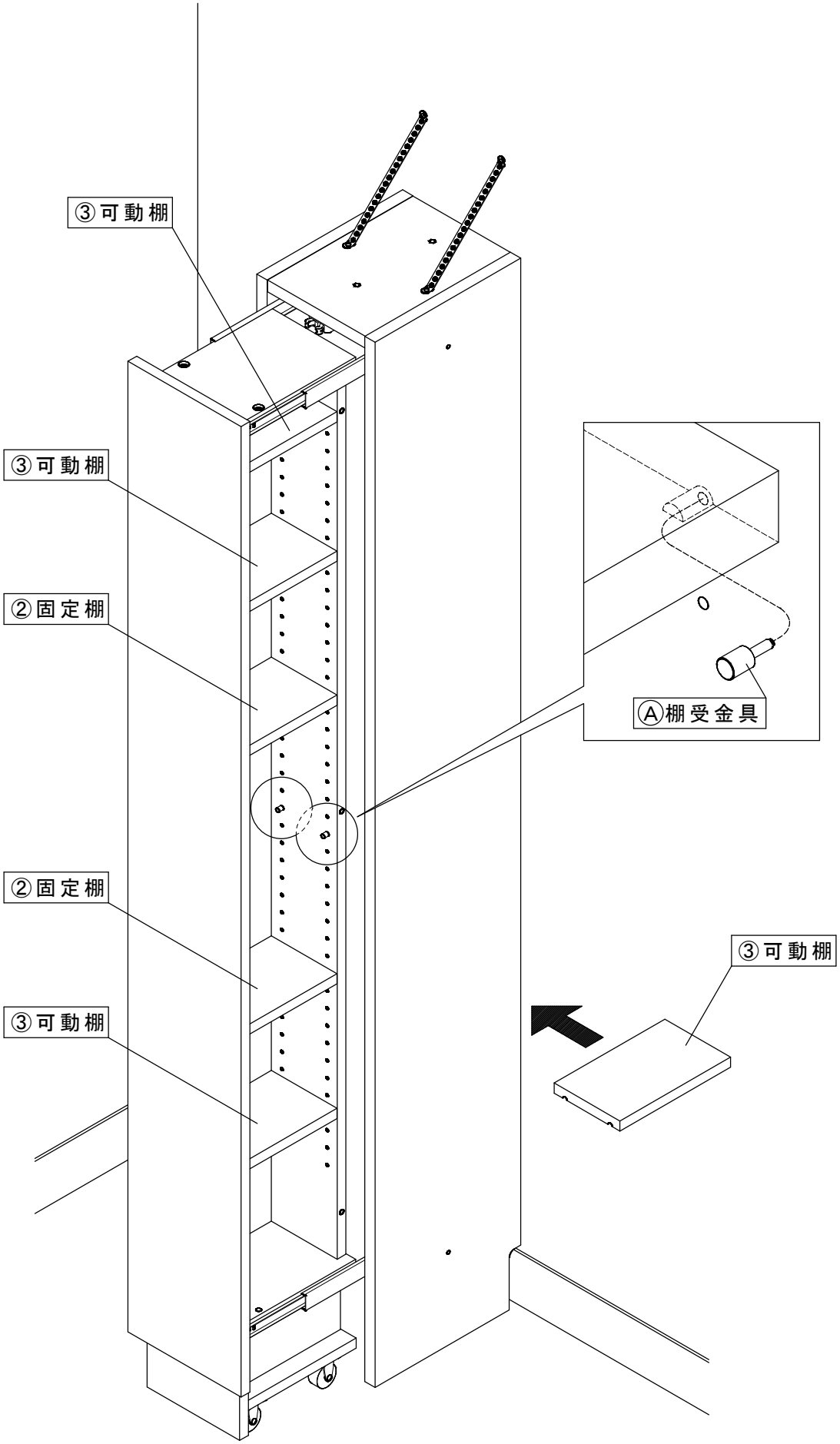
1　任意の場所に設置し、Ⓓ 転倒防止バンドを取り付けます。

●転倒防止バンド同梱の取り付け方の説明書を参照してください。
●左仕様には転倒防止バンド取り付け前に７ページを参照して変更してください。
●固定棚位置は転倒防止バンド取り付け前に８ページを参照して変更してください。
●上台は転倒防止バンド取り付け前に設置してください。
●上台及び天井つっぱりの取り付け方は「上台組立取扱説明書」を参照してください。



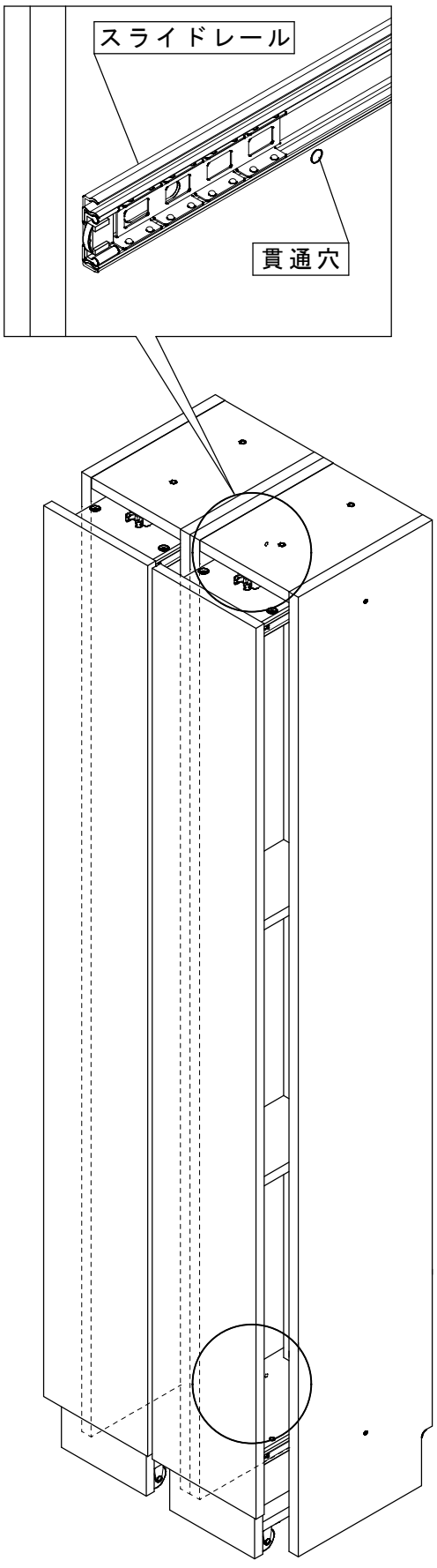
2　③可動棚を取り付け完成です。

●固定棚取付変更は８ページを参照してください。



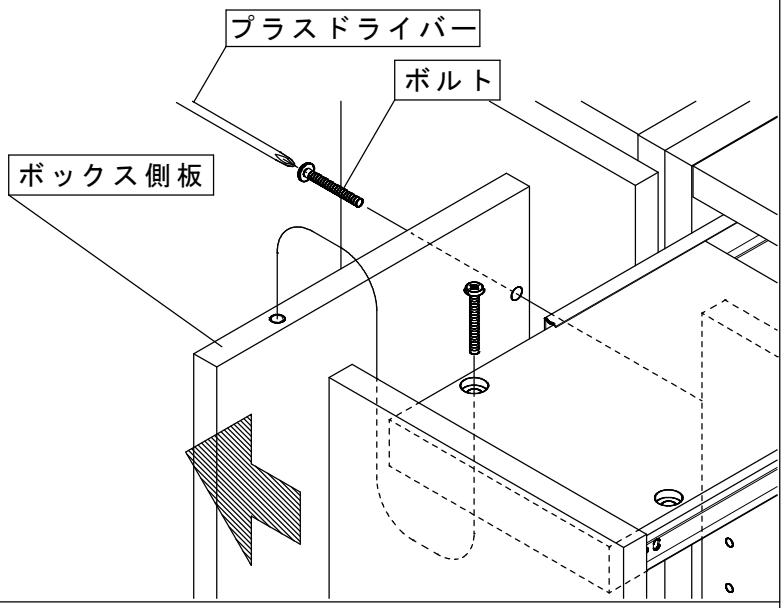
【横連結する場合】

●連結時、ボックス側板が外側にある場合は取り外す必要はありません。
②番の連結をしてください。
ただし、CM-23Bと連結する場合は、ボックス側板を外してください。

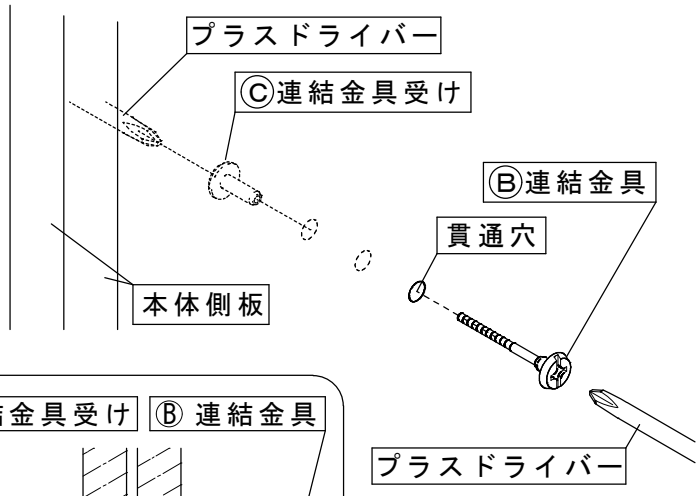


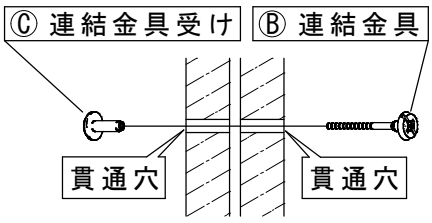
横連結説明

① 連結時、内側になるボックス側板を外します。

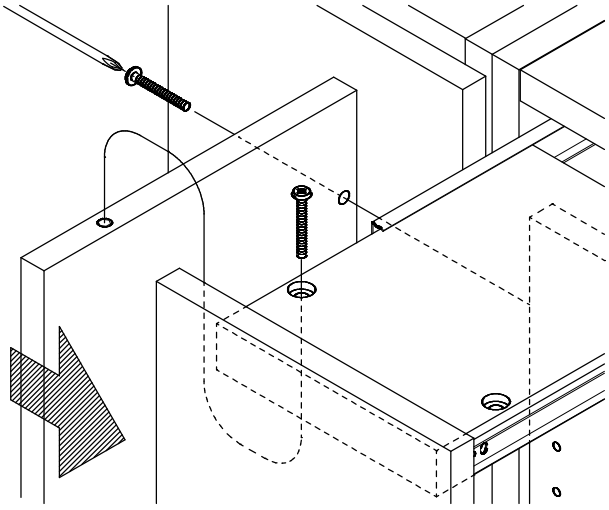


② Ⓑ連結金具、Ⓒ連結金具受けを取り付けます。



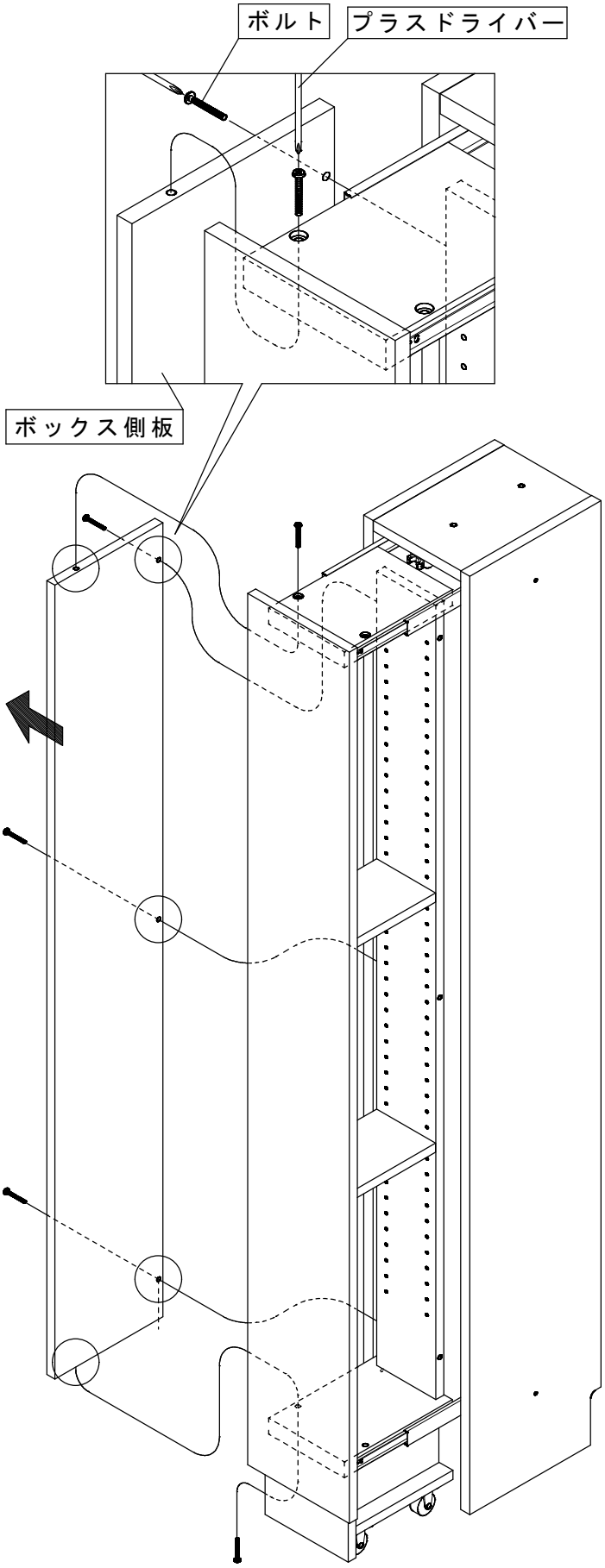


③ ボックス側板を取り付けます。

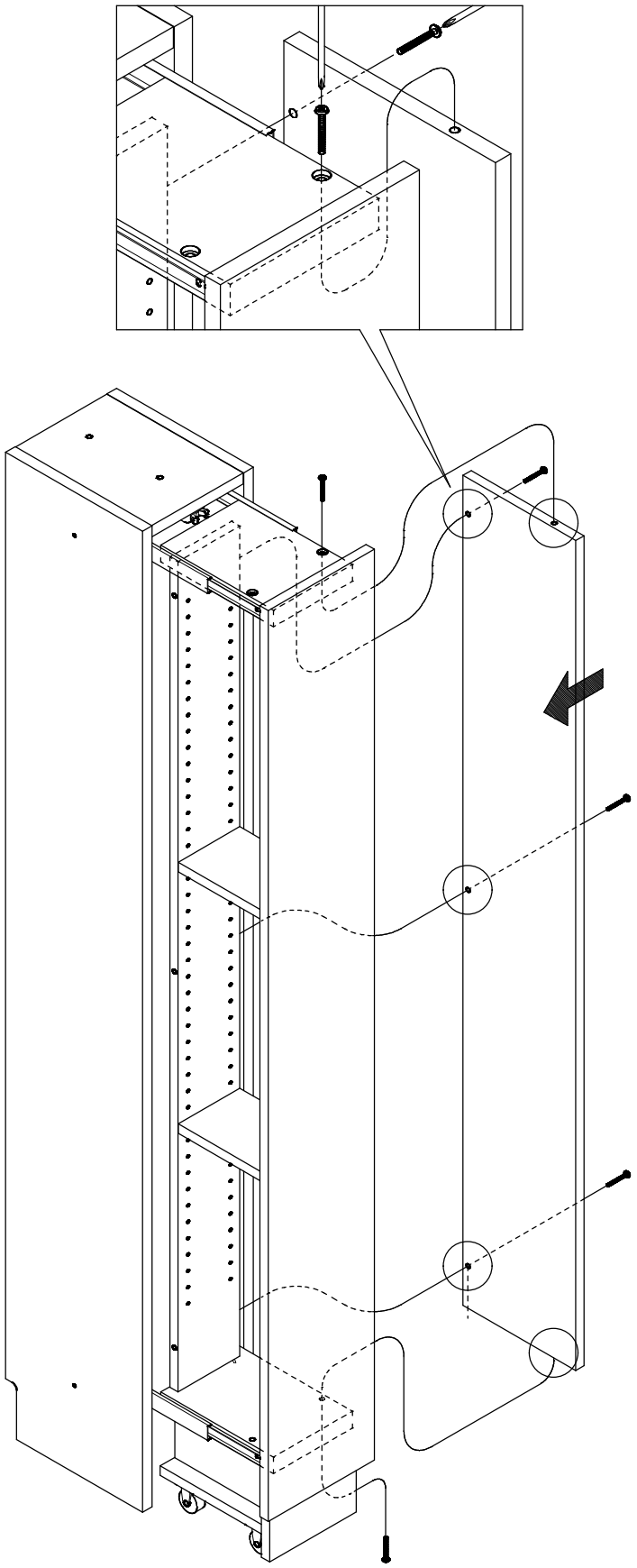


左仕様変更説明

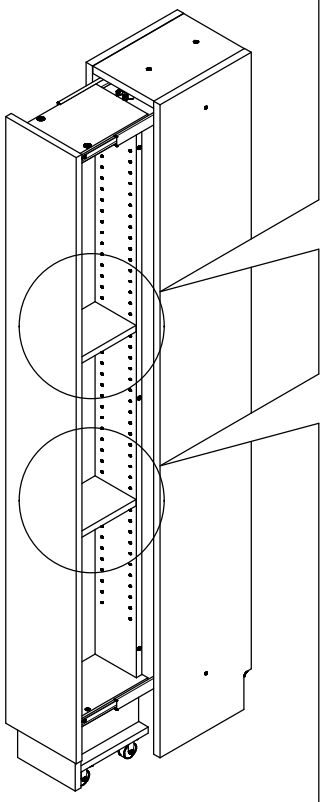
① ボックス側板を外します。



② ボックス側板を右側へ取り付けます。

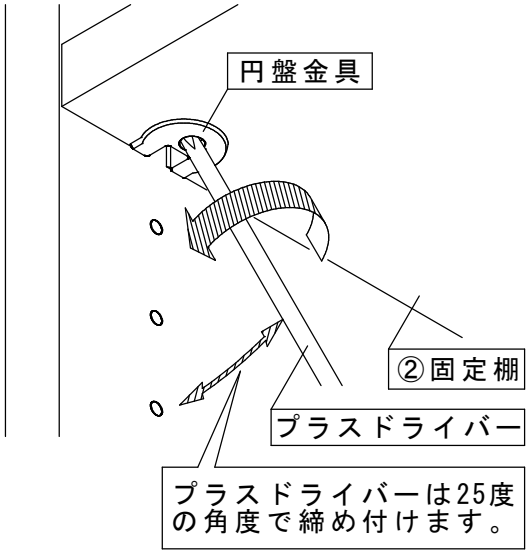


固定棚取付変更説明

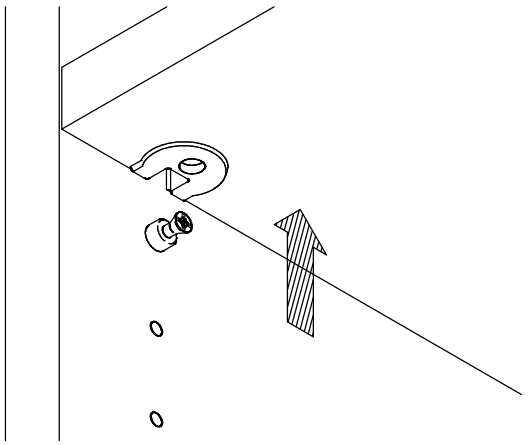


固定棚取外し

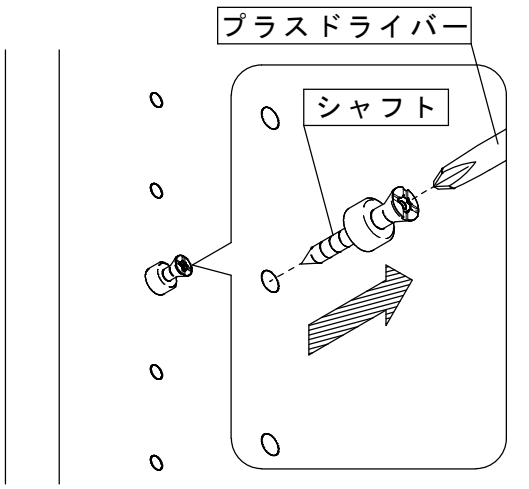
①円盤金具をプラスドライバーで1/2程度左回転させて固定解除します。



②固定棚を上へ移動して外します。

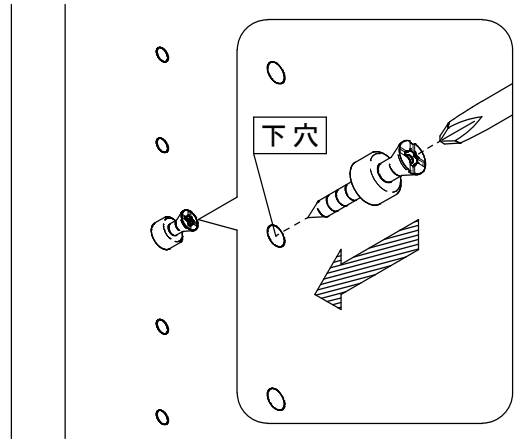


③シャフトを外します。

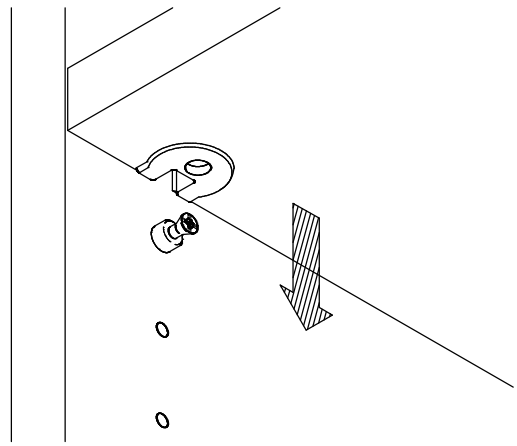


固定棚取付

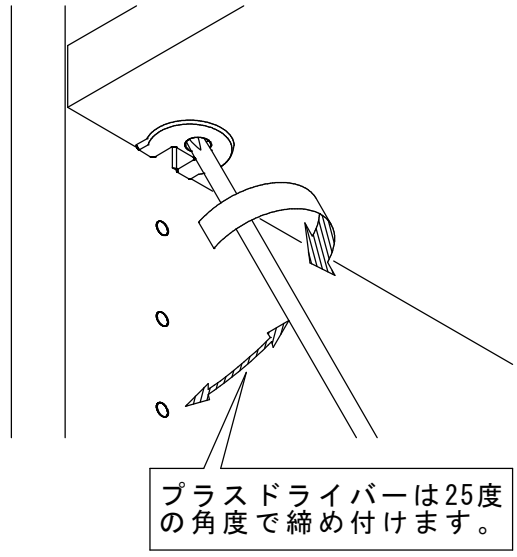
①シャフトを任意の位置へ取り付けます。



②円盤金具をシャフトに差し込みます。



③プラスドライバーで1/2程度右回転させて固定します。



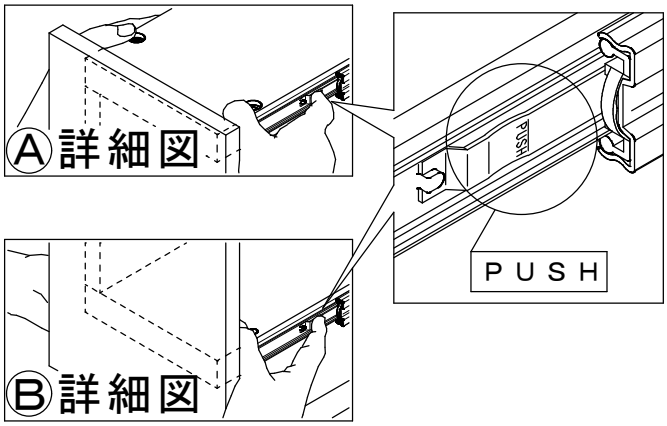
スライドレール脱着方法

スライドレール取り外し

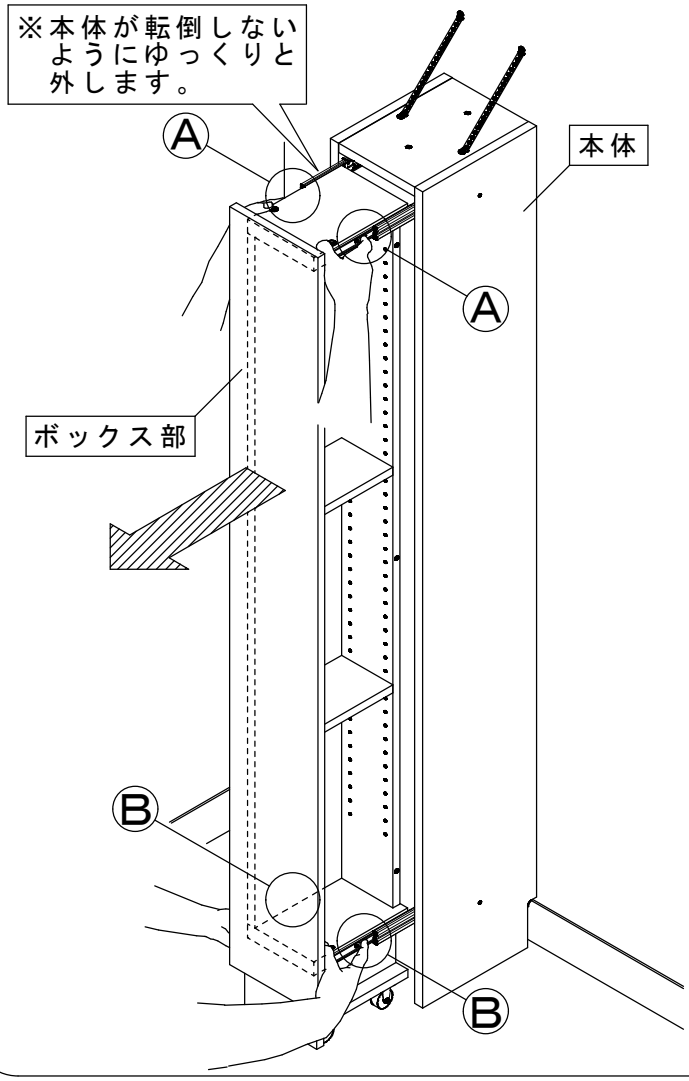
※２人以上で取り外してください。

①収納物及び可動棚は全て取り外します。

②スライドレールの[PUSH]部分を４箇所（A・B詳細図）押します。



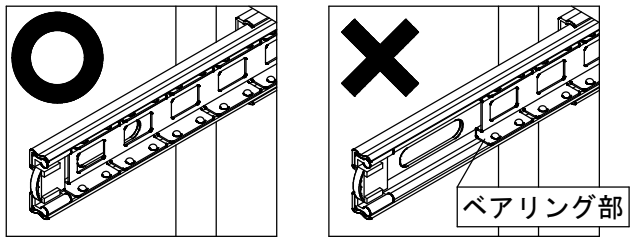
③４箇所押した状態でボックス部を手前に引き抜きます。



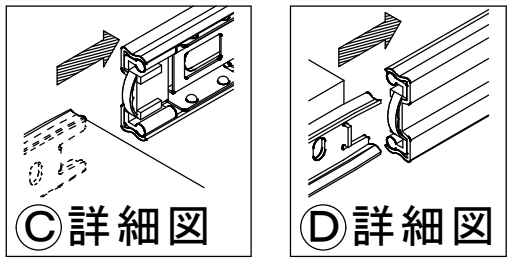
スライドレール取り付け

※２人以上で取り付けてください。

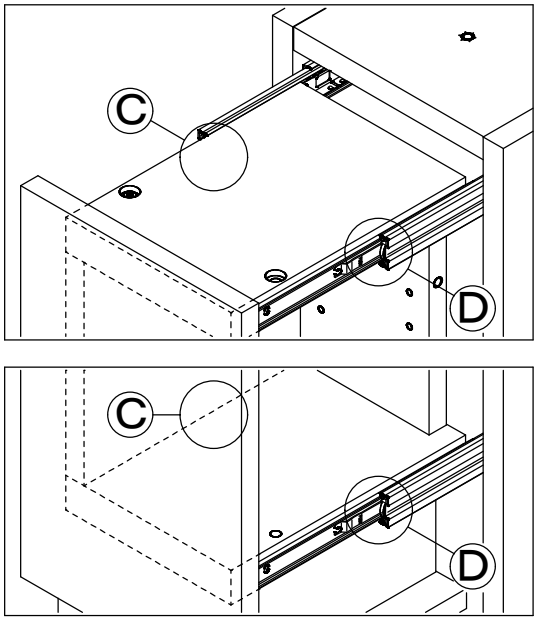
①本体スライドレールと内部のベアリング部を手前にのばす。



②ボックス部上スライドレールをベアリング部へはめ込む。



③上部スライドレールを1/2程奥へ押して下部スライドレールをはめ込む。
（上部はしっかり支えてください）



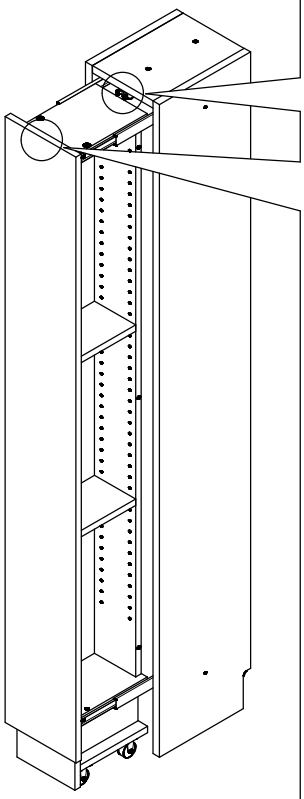
④奥まで押し込む。

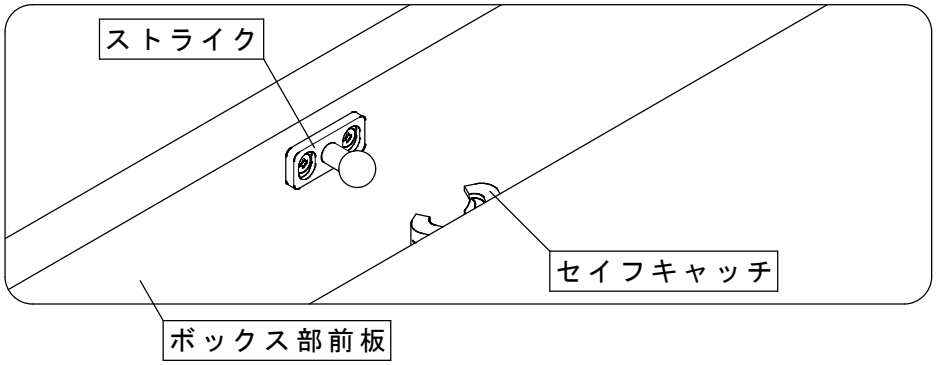
⑤ボックス部を二､三度開閉しスライドレールが外れなければ完了です。

ストライクの調整方法

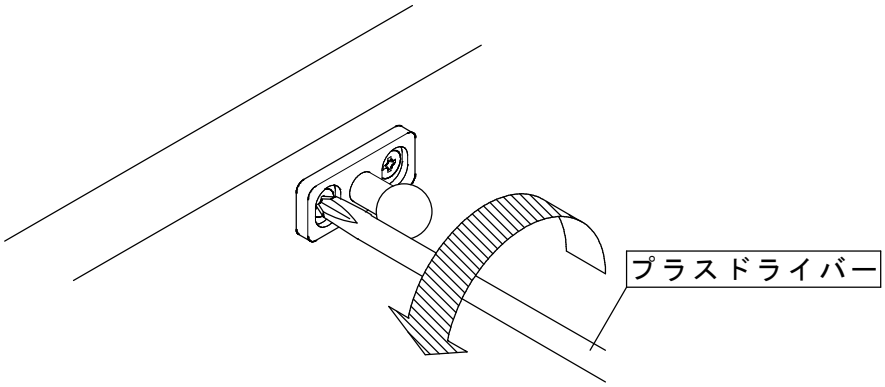
●ストライクとセイフキャッチがかみ合わない場合は、本品を設置した際にボックス部前板と本品の間にズレ・隙間が生じていることが考えられます。本品を垂直に立ててください。

●それでもかみ合わない場合は下図の方法にて調節してください。

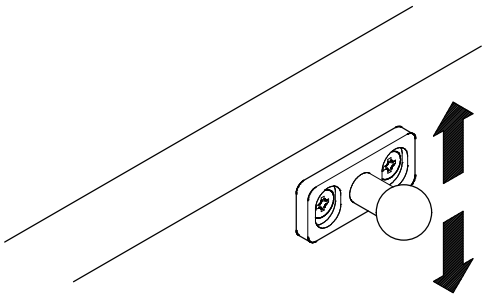




① ストライク取付けの皿頭木ネジをゆるめます。



② ストライクを上下方向に調節します。



③ 皿頭木ネジをしめます。